

神戸新聞社は、兵庫の優れた中小企業と大學生の就職マッチングを支援する「Mラボ」事業に取り組んでいす。本年度からその対象を、女性やシニアに拡大します。

「Mラボ」の名称はマッチング、マーケティングなどの「研究室（ラボ）」の意味を含んでいます。子育ても落ち着いた

女性やシニアも対象に

就職マッチング事業「Mラボ」

のもう一度働きたい。定年まで勤め上げた経験を新たな環境で役立てたい。そんな思



エムラボ

いを中小企業につなぎます。具体的には、兵庫県

具体的には、兵庫県

中小企業団体中央会や兵庫県、神戸市、兵庫労働局、大学コンソーシアムひょうご神戸、日本政策金融公庫などと連携し、セミナーや相談会、見学ツアーなどを展開します。

また、東京や大阪などの学生に県内への就職を呼びかけるUIJターン事業も手掛け、地域創生をお手伝いします。

また、東京や大阪などの学生に県内への就職を呼びかけるUIJターン事業も手掛け、地域創生をお手伝いします。

「もう一度働きたい」後押し

中小企業の課題を大学のゼミ単位で調査研究する「課題解決ラボ」や、就活に役立つ情報を集めた「ひょうご中小企業ガイド」は兵庫県とともに運営・発行します。各事業の詳細は神戸新聞の紙面や「Mラボ」ホームページ（<http://m-labo.com/top/>）をご覧ください。神戸新聞地域総研 ☎078・362・7079

神戸新聞社